【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【公開番号】特開2018-34747(P2018-34747A)
【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-009
【出願番号】特願2016-171777(P2016-171777)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　16/02　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　16/027　(2006.01)
Ｂ６２Ｄ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　16/02　６３０Ｂ
Ｂ６０Ｒ　16/027　Ｔ
Ｂ６２Ｄ　1/04

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月6日(2018.9.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
ドライバが手をハンドル（９）に沿って滑らせるスライド操作を行うことで、制御対象機器（５～７）の制御を行う車両用操作システム（１）において、
ドライバが前記スライド操作を行ったか否かを判定する操作判定部（２ａ）と、
ドライバが前記スライド操作を行ったと前記操作判定部が判定した後に、ドライバが前記スライド操作を行ったときの操舵角度を判定する操舵角度判定部（２ｃ）と、
前記操作判定部の判定結果と前記操舵角度判定部の判定結果とを用い、前記制御対象機器の制御を行うか否かを選択する機器制御部（２ｄ）と、を備えた車両用操作システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項６】
ドライバが手をハンドル（９）に沿って滑らせるスライド操作を行うことで、制御対象機器（５～７）の制御を行う車両用操作システム（１）の制御部（２）に、
ドライバが前記スライド操作を行ったか否かを判定する操作判定手順と、
ドライバが前記スライド操作を行ったと前記操作判定手順により判定した後に、ドライバが前記スライド操作を行ったときの操舵角度を判定する操舵角度判定手順と、
前記操作判定手順の判定結果と前記操舵角度判定手順の判定結果とを用い、前記制御対象機器の制御を行うか否かを選択する機器制御手順と、を実行させるコンピュータプログラム。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００６】
請求項１に記載した発明によれば、ドライバが手をハンドル（９）に沿って滑らせるスライド操作を行うことで、制御対象機器（５～７）の制御を行う車両用操作システム（１）において、操作判定部（２ａ）は、ドライバがスライド操作を行ったか否かを判定する。操舵角度判定部（２ｃ）は、ドライバがスライド操作を行ったと操作判定部が判定した後に、ドライバがスライド操作を行ったときの操舵角度を判定する。機器制御部（２ｄ）は、操作判定部の判定結果と操舵角度判定部の判定結果とを用い、制御対象機器の制御を行うか否かを選択する。